

資料3 令和5年6月12日(月)  
第9回 魅力ある新国立公文書館の  
展示・運営の在り方に関する検討会

# 新たな国立公文書館における学習について

令和5年6月  
独立行政法人 国立公文書館



公文書管理の中核組織（センター・フォー・アーカイブズ）として、公文書[民主主義の根幹を支える基本的インフラ]の保存と利用を通じ、「現在」及び「将来」の国民の国づくりへの参加や質の高い生活の実現に寄与

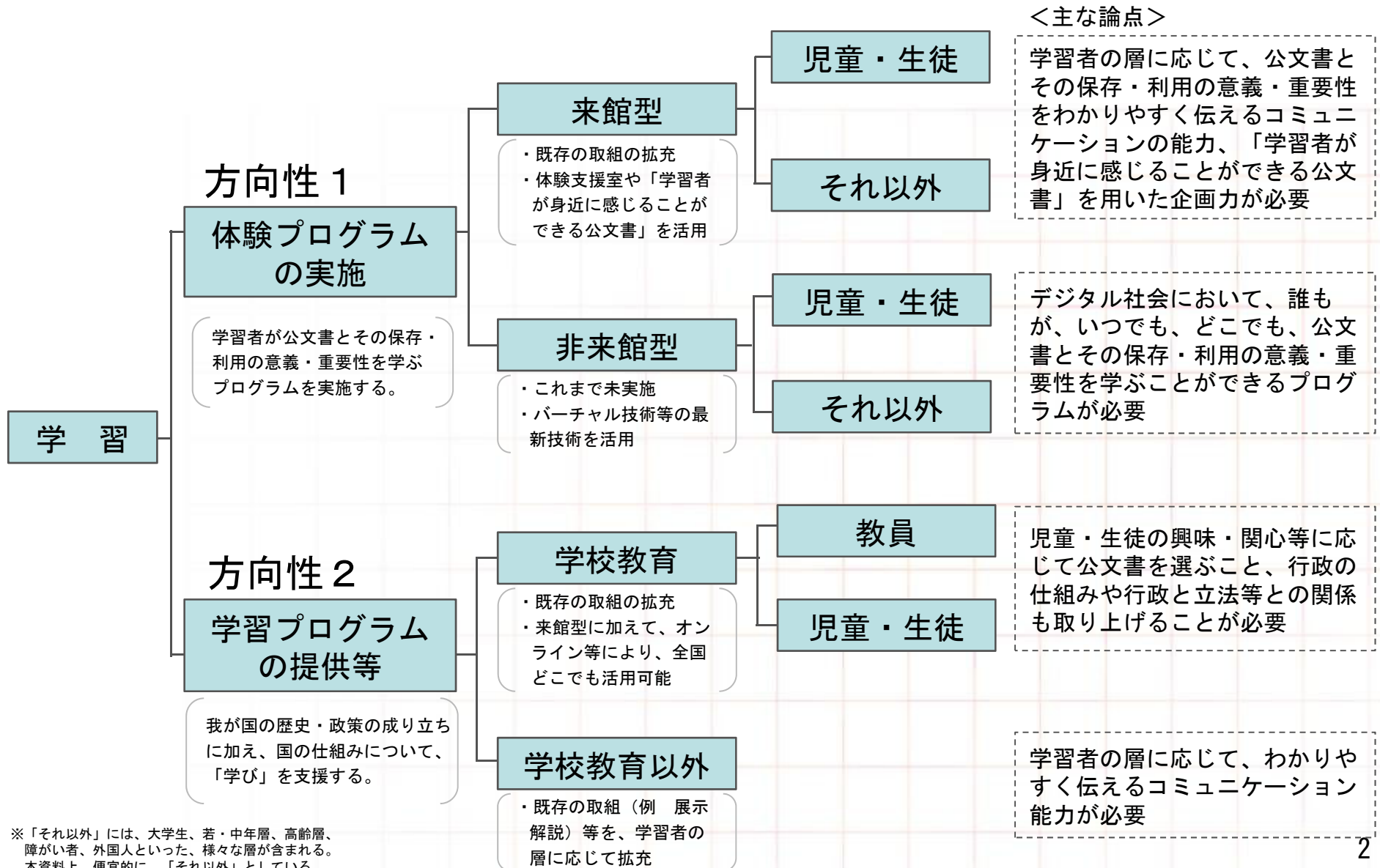
- ユニバーサルデザインを踏まえた開かれた学習機会を提供することで、様々な層（特に、将来において我が国を支えていく若い世代）が、その知的資源として公文書を利活用し、更に次の時代へと継承していくための取組を推進する。
- 展示の目的と歩調を揃える。

○新館における展示・学習について（たたき台）魅力ある新国立公文書館の展示・運営の在り方に関する検討会  
（第8回）配付資料

【展示の目的の整理】

- ① 公文書の意義・重要性を伝える。
- ② 公文書を保存し、将来に残す意義・重要性を伝える。  
（※国立公文書館の役割を含む）
- ③ 歴史公文書等を通じて、我が国の歴史や政策の成り立ちを伝える。

## 2. 今後の取組（全体像）





# 3. (方向性1) 体験プログラムの実施

## 1. 学習者が、公文書に親しみながら、公文書とその保存・利用の意義・重要性を体験を通じて学ぶ。(展示の目的①②)

(主なプログラム案等)

- 「公文書を保存し、将来に残す」意義・重要性を伝える、保存に係る取組に関するプログラム (参照 これまでの取組例①)
- 「公文書を利用する」意義・重要性を伝える、利用に係る取組に関するプログラム。その際、学習者の興味・関心等に配慮した公文書を活用 (参照 これまでの取組例②)
- 最新の技術を活用したプログラム (参照 参考)

⇒主な論点

- プログラムの継続的な企画及び運営を行うための人材が必要
- 「学習者が身近に感じることのできる公文書」のバリエーションの増加
- 最新の技術を用いたプログラムの検討

(これまでの取組例)



①館主催見学会  
中高生による業務体験



②館主催見学会  
中高生による閲覧体験

(参考：メタバース空間上に開設された「バーチャル東京国立博物館」)



東京国立博物館 (エウレカトーハク! 89  
<https://virtualtohaku.jp/eurekatohaku1089/>

### 3. (方向性2) 学習プログラムの提供等

## 2. 我が国の歴史や政策の成り立ちだけでなく国の仕組みについて、 様々な層の「学び」を支援する。(展示の目的③)

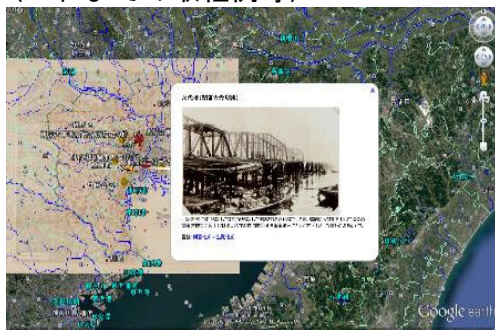
(主なプログラム案等)

- まず児童・生徒を対象に、学習指導要領を踏まえたプログラム (参照 これまでの取組例①)
- 児童・生徒の興味・関心等に配慮した公文書やその探し方に関するプログラム (参照 これまでの取組例②)
- 様々な層に応じたプログラム (例 展示解説) (参照 これまでの取組例③)

⇒主な論点

- プログラムの継続的な企画、運営には、まず学校教育に経験や知識を有する人材が必要
- 学校教育関係者との連携により、教員の意見や児童・生徒の興味・関心の把握が必要
- 様々な層に応じたプログラムの検討

(これまでの取組例等)



①大東京都市計画道路網図 (関東大震災後)と永代橋 (関東大震災時)を重ねた図



②出前講義の様子 (中学校からの依頼を受けて実施)



③ (館主催見学会) 常設展示を使ったクイズゲーム (全問正解して、オリジナルの花押を印刷した「閣議決定文書」を作成)



「新たな国立公文書館」  
が目指す姿



公文書[民主主義の根幹を支える基本的インフラ]の**保存と利用**を通じ、  
「現在」及び「将来」の国民の国づくりへの参加や質の高い生活の実現に寄与

次世代による  
検証を可能に

国民本位の  
公文書管理制度へ



公文書管理の中核組織 **センター・フォー・アーカイブズ**  
三権の機関が近接する国会前庭の新施設に「国家の記憶」を集積し、  
「世界水準の新たな国立公文書館」を創造

歴史的に重要な記録・所在情報  
の集約と一体的な提供を可能に

国民に対する貢献

サービス全体のオンライン化  
を実施

ネットワーク  
構築

- ・レファレンス（支援）の強化・充実
- ・開かれた展示・学習の機会を提供

規範の提示

あらゆる資料をデジタルアーカイブへ  
（目録情報の充実化）

デジタル技術の活用による  
アーカイブズの一元化

公文書管理制度改革  
への提言

地方に対する貢献

行政機関等に対する貢献

- ・公文書館や類似施設との連携強化
- ・運営及び文書管理に対する支援推進

あらゆる利用者の  
アクセスを可能に

人材育成・  
体制確保

移管促進への  
協力を推進

- ・現用文書段階からの積極的な関与  
（内閣府・各省庁等への支援・助言）

アーキビスト認証制度  
の普及促進

基盤としての調査研究機能の構築

- ・公文書管理制度全般に係る理論と  
実務・実践の両面を見据えた研究  
の遂行

研究基盤

アーカイブズ・シンクタンク（仮称）

「資料」の把握・分析のみから→**調査研究拠点**へ

学際的研究の推進と発信  
（制度、利用、展示、情報学、デ  
ジタル技術等）実学分野を網羅

### 国民に対するサービスの向上

- ・ 目録情報の充実化、資料検索のワンストップ化  
→統合された情報、キーワード検索、資料群情報等の充実
- ・ 利用者の調査研究に対する支援（レファレンス）強化・充実
- ・ 多彩なコンテンツや研究成果に裏付けられた魅力的な展示の質・量両面での充実
- ・ 最新・先端技術を活用した展示手法の採用
- ・ ユニバーサルデザインを踏まえ開かれた展示・学習機会を提供（障がい者対応、多言語対応等）
- ・ 学校教育に対する「学び」の支援（学習プログラムの提供等）

### 地方に対するサービスの向上

- ・ 文書管理に関する基準、ガイドライン等の提示
- ・ 公文書館や類似施設との連携強化
- ・ 公文書館運営及び文書管理に対する助言

### 行政機関等に対するサービスの向上

- ・ 内閣府・各省庁等への支援・助言を通じた、現用文書段階からの公文書管理に積極的関与  
内閣府の公文書監察室の監査への協力
- ・ 文書管理担当者との意見交換、研修の充実により、保存期間満了後を見据えた内閣府・各省庁等管理文書の移管促進への協力
- ・ 国民本位の公文書管理制度となるよう、公文書管理制度改革への提言

### デジタル化、その他

- ・ デジタル時代のユニバーサルアーカイブ  
あらゆる資料をデジタルアーカイブへ  
→情報連携の実現、機械可読化、多言語対応、音声読み上げ、オープン化等
- ・ 情報ネットワークの構築・強化（ハブ機能）
- ・ 歴史的に重要な記録・所在情報の集約と一体的な提供